

2020年5月20日現在

(別紙)

本別紙において金融環境の変化やシステム構築の状況により、当行が提供するAPIの具体的な仕様などについては、当行サイト上で順次公開します。

1. 更新系オープンAPIの整備の可否及び整備完了時期

- (1) 個人のお客様の本人口座間の資金移動や収納資金の決済等については体制整備を完了しております。ただし、他人口座への資金移動にかかる決済等については、現段階では未定です。
- (2) 法人事業先のお客様の資金移動にかかる決済等については、現段階では未定です。

2. 参照系オープンAPIの整備の可否及び整備完了時期

- (1) 個人のお客様に対するインターネットバンキング契約を前提としない普通預金・貯蓄預金・カードローンの残高照会や入出金明細照会については体制整備を完了しております。
- (2) 法人事業先のお客様に対するインターネットバンキング契約を前提とした残高照会や入出金明細照会については体制整備を完了しております。

3. API連携に係るシステムの設計、運用及び保守ならびにその他の当該整備に係るシステムの構築に関する方針

- (1) 「オープンAPIのあり方に関する検討会報告書」(2017年7月13日公表)の開発原則に準拠したシステムを構築します。
- (2) アーキテクチャ・スタイルはREST、通信プロトコルはHTTPSを使用します。
- (3) データ表現形式として、JSONを利用します。
- (4) 認可プロトコルとして、OAuth2.0を採用します。
- (5) APIのメッセージに用いる電文仕様は、基本的に「オープンAPIのあり方に関する検討会報告書」別紙の電文仕様標準に準拠しますが、「日付・時刻、通貨コード」について、独自の電文仕様となります。
- (6) インターネットバンキングについては、共同センター(当行の勘定系システムを構築している業者)を利用しております。尚、個人のお客様に対するAPIについては、同共同センターが提供するインターネットバンキングの契約が無くても利用できるスキームを利用しています。法人事業先のお客様に対するAPIについては、同共同センターが提供するインターネットバンキングの契約が必要です。

4. その他参考となるべき情報

- (1) APIにより公開される預金口座の情報は残高情報と入出金明細情報(直近2ヶ月迄の取引明細)に限ります。

以上